



卒業式に間に 合わせて 新城小学校で 草花体験

NPO沖縄県農業活性支援センターは、命の大切さや思いやりのある心を持つてほしいと、2月7日(水曜日)、新城小学校で草花体験学習を実施しました。小学5年生32名が参加した草花体験には、当センターから土と苗とプランターが提供され、当センターの屋宜宣行理事長と大城正幸副理事長から植樹の指導も行われました。また、今回の取り組みは卒業式も間近ということで卒業する生徒の花道に飾ってもらいたいという意味も含まれています。屋宜理事長は、「卒業生には、中学校でいいスタートをきってもらいたいので華やかに見送ってほしいですね」と話しました。



卒業の花道に飾る花の植樹に
一生懸命の児童たち

ときわ苑本島縦断 127キロを走りつなぐ

「交通安全、飲酒撲滅」と書かれた横断幕を掲げながら当銘にある特別養護老人ホーム「ときわ苑」(金城武施設長)は、1月14日に沖縄本島縦断駅伝を行いました。第11回目となる駅伝には、施設職員やその家族たち約70人が参加して辺戸岬からときわ苑施設まで127キロを58区間、約12時間かけて走り抜きました。最年少は、4歳児から最高齢は60歳代までが自分に見合ったペースを伴走車と共に走りタスキをつなぎました。金城武施設長は、「駅伝の目的は交通安全と飲酒撲滅を呼びかけることにありますが、それ以外にも職員やその家族同士の交流にもなっています。職員の健康と親睦を願って来年も続けていきたいです」と来年の駅伝に意欲を見せました。



本島縦断を走りつなぎ記念撮影する入所者と職員

読売JALカップ争奪ゴルフ大会

読売JALカップ争奪ゴルフ大会(読売新聞中部支社・スポーツ報知主催)が1月22日、那覇ゴルフ倶楽部で開催され、73名が参加しました。リピータが多いというこの大会には、本土からの参加者も多く冬でも暖かく照らす沖縄の日差しをいっばいに浴びながらゴルフを楽しむことができます。夜にはホテル日航那覇にて表彰パーティも行われ、中村町長も出席しました。大会中に「きれいな海を守る」ことを目的に集められた寄付金が中村町長に贈呈されると「八重瀬町で大会が行われたことは、大変喜ばしく思います。今後もこの大会が実りあるものになることを祈願致します」と大会の成功を喜びました。



整髪・理髪ボランティア 旧正月を気持ちよく

八重瀬町社会福祉協議会では、専門のボランティアを募集して様々な取り組みを行っています。1月29日と2月13日には、美容を専門に行っている「ファイブ理容室」の伊福洋さん、江美子さんと美容を専門に行っている「宇座美容室」の宇座静枝さんが、なかなか美容や理容に行けない方の自宅を訪問して整髪や理髪をしてくれました。利用者からは、「気持ちよく旧正月を迎えられる」と喜びの声も多くあります。なお、社会福祉協議会では、理髪・整髪ボランティアを歳末とお盆にも行っており、理容・美容ボランティアスタッフを随時募集しています。興味のある方は、左記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

八重瀬町社会福祉協議会
八重瀬町ボランティアセンター
担当者(仲村辰彦)

TEL 998-4000
FAX 998-8899



「ファイブ理容室」の伊福夫妻



「宇座美容室」の宇座静枝さん

八重瀬町駅伝大会 目標は、4連覇

東風平町営体育館前をスタート、ゴールとした八重瀬町駅伝大会が2月11日（日曜日）開催され、東風平、小城、富盛、後原の4チームがエントリーしました。総勢68人が参加した駅伝大会は、小学生から大人は50代までの選手が17区間を年代別に競い合いました。選手たちは、前走者からタスキを受け取ると沿道の応援を受けながら力いっぱい走り抜き次の人にタスキを託していきます。優勝は、旧東風平で行われていた第8回大会から3連覇を飾っている東風平チームでした。アンカーを務めた宮城美希選手は「4連覇という目標をみんなで掲げていたので絶対一位で走り抜こうと思っていた。来年もまた、連覇を重ねていきたい」と来年の大会にも意欲を見せました。



4連覇を果たした東風平チーム

島尻地区新人大会 町内中学校生徒が大活躍

島尻地区中学校新人総合体育大会が1月20日、21日と27日から29日に各地で行われ、町内の具志頭中学校と東風平中学校の生徒たちが大活躍しました。バレーボール男子と軟式野球は、具志頭中学校が共に制覇し、剣道団体とハンドボールは、男女ともに東風平中学校が優勝を果たし、ソフトテニス団体戦女子も東風平中学校が制覇しました。中でも島尻地区の大会で具志頭中学校野球部が優勝するのは、26年ぶりの快挙。沖縄県大会において優勝は惜しくも逃しましたが3位という好成績に終わることができ野球部の選手や親たちは大いに喜びました。



島尻地区大会で優勝し、記念撮影する具志頭中学野球部

第一団地「一茶会」お茶を通して語り合い

町が社会福祉協議会に委託して行っている活動「ミニデーサービス、字（しま）とうーてい語らな事業」では、おおむね60歳以上のお年寄りを対象にして各字ごとマッサージやレクなど各種サービスを提供しています。1月16日（木曜日）には、第一団地の会が集う「一茶会」を通してお茶飲み・講話などを行いました。参加者たちは、仲良くお茶を飲みながら気の合う仲間との話を楽しんでいる様子でした。「一茶会」の会長の石原キヨシさんは、「一茶会のメンバーには、この集いを通して会話を楽しみ、いつまでも健康にいてもらいたい」と話しました。



新春伝統芸能祭 伝統芸能とともに お正月を賑わう

観光客はじめ地元のお客さんにも伝統芸能を堪能して頂こうと新春伝統芸能祭が1月1日～3日まで南城市玉城のおきなワールドにおいて開催され、八重瀬町から志多伯獅子舞や棒術保存会が出演しました。獅子舞や棒術など迫力のある演舞に見に来ていたお客さんからは、大きな拍手がわき起こっていました。また、それ以外にも地元南城市からは、当間区獅子舞や津波古棒術保存会などの演技も披露され、見に来た人たちは、魅力ある芸能とともにお正月を賑わっていました。



志多伯獅子舞保存会のメンバー